

フロムサウス
from SOUTH

vol. 27 2012年
6月10日発行
長崎県立長崎南高校関東同窓会
会報



▲イラスト 小玉修作（7回生）

長崎南高校関東同窓会総会

第22回 2012・7・14

南の夏！ ことしは龍踊りの出るとよ
見にこんね 待っとるけんね！

せからしかこた、忘れて

新緑の香りがすがすがしい季節になりました。

皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、長崎南高校関東同窓会の総会・懇親会を下記の要領で開催いたします。

久々に近況などを語らいながら、暑い最中ではありますが旧交を温め、親睦を深めたいと存じます。

19回生がお世話になりました、草野十四朗先生もご出席くださる伝え聞いております。

再会の折には、卒業後にそれぞれが歩んだ道のりをたたえあい、いまひとたび、当時の仲間たちや諸先輩方と、高校時代に戻った気分で語り合いましょう。

是非、仲間内でのお声がけやお誘いあわせの上、一人でも多くのご来会を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

・・・などという堅苦しい文章はこれくらいにして。

ちょうど暑かときに開催さるっとやっけん、暑気払いにビールば飲んで喉ば潤すともよかし、久しぶりの同級生や先輩方とちょっと普段のせからしかことば忘れて長崎弁で話してみるばーい！

あ、注意しとかんといかんとけどさ、ジーンズは履いてきたらダメばい。ノーネクタイはよかばい。



吉田智範（19回生）

日時 2012年7月14日 土曜日 14時～
場所 東京／六本木一丁目 住友会館
住所 〒106-6042 港区六本木1-6-1
 泉ガーデンタワー42階 住友会館
 TEL 03(5573)8825
会費 10,000円(年会費2,000円含む)
 学生5,000円(年会費2,000円含む)
 家族4,000円

住友会館は住友グループの迎賓館です。ジーパン、ハーフパンツ、サンダル履きはご遠慮ください。ノーネクタイはOK。クールビズの世の中ですから…

二次会 ウルフ ギャング パック赤坂アークヒルズ店
 (昨年と同じ会場)
会費 3,000円



▲東京メトロ南北線 六本木一丁目

もってこーい、
もってこーい
今年は龍踊り登場
旧友への
思いを胸に

東龍倶楽部代表
栗原 信敏

二〇〇七年の関東同窓会総会に引き続き、東龍倶楽部を呼んでいただきありがとうございます。

南高と東龍倶楽部の関係は深く、今は亡き南高の寺田段介君（5回生）には、創部の時にたいへんお世話になりました。彼とは片淵中学で同窓でした。

八年前に龍踊りをしようかと思った時に、龍だけは長崎県のものであり、それをお借りすることができたのですが、楽器類が何もありませんでした。

その時ふっと思い出したのが段介君のことです。すぐ長崎の彼に電話したら、「おいは明日、中国に行くけん、楽器類は買ってきてやるバイ」と言ってくれ、ダンボール二箱分の楽器類を買って来てくれました。

それからまもなくして、上野松坂屋の屋上で龍踊りをやることになりました。しかし、それまで自己流で練習していましたので要領が分から

なかったで、また段介君に電話して、航空運賃払うから指導に来てくれんか、と頼んだら、即ふたつ返事で来てくれました。

前日に松坂屋の屋上で龍衆と楽器類の特訓をやり、当日どうにかこなすことができました。その時、彼から言われたのが、「東高はようやるよ！怖さも知らんで」でした。

今の東龍倶楽部があるのは、段介君のお陰だと感謝しております。

前回の龍踊りが終わってから、年配の方に、龍踊りを三〇年ぶりに見たばいとか、長ラッパの音を聞いた時には背筋がゾクゾクしたとかのお声をかけていただきました。

最後に東龍倶楽部は慢性的な部員不足に悩んでおります。

ぜひ南高からの参加を、切に願います。



目を閉じるとあの頃が……
今年もご参加ください

長崎南高関東同窓会長

小岩 寿樹【10回生】

堀口大学が訳した、フランスの詩人フィリップ・シャヴァネックスの詩に「目を閉ざすと、私にはあなたが見える」という一節があります。

気持ちを長崎の街のあの景色に飛ばせて、目を閉じてください。ほら、南高のスタンドの上から長崎港がみえますか？稲佐山が見えますか？白糸からの急坂を上って行くと、校門前で出会う小島から上って来た友の顔が見えるでしょう？そう、あたかもタイムスリップしたかのよう……。

「十八歳の時の貴方に会えますよ」私が会長になって、ずっと提唱し続けているキャッチフレーズです。

息を切らせながらあの坂道を上り続けた毎日、勉強だらけの雲仙合宿、汗を拭き拭き受けた夏季補習授業等、あの頃は苦しいと思ったことも、今では懐かしい思い出です。それに加えて、九重登山の後の「キャンプファイアー」や体育祭の「後夜祭」等楽しい思い出もよみがえってきます。そんな、高校時代の自分に会い

に來ませんか？

そこには、眉毛の上や下腹が変化したし、学生時代に比べて見る影もない風貌になった友の姿がありますが、心が昔に戻ると、ほら、その友のあの頃の勇姿が見えて來ますよ。

今年の同窓会も、あなたが高校時代の思い出の現場に帰れるよう、十九回生を中心に、いろいろな趣向を凝らしたものを用意しています。

気兼ねすることなく長崎弁をしゃべり、おいしい料理と、住友会館からのすばらしい眺めが、あなた自身との素敵な出合いを演出してくれる



はずです。

毎日毎日、前向きに生きていくのも疲れます。そう言う時こそ、後ろを振り返って、希望に満ちて輝いていたあの頃の話をしましょう。

日頃から言葉使いを注意する会社の上司や箸の上げ下げまでうるさく言う配偶者の存在を忘れて、旧友とおおいに昔のことを話しましょう。

南高を卒業して、遠く離れた関東に住んでいる方々に、そんな楽しい空間を提供できるよう準備をしていました。できるだけ多くの方に出席してもらいたいと思っています。

住友会館の窓からは、遠くのお台場や近くは東京タワーが見えますが、そこで目を閉じてください。すると、景色がグラバー邸から見た長崎の街並みに変わりますよ。



創立50周年記念イベントに寄せて 五〇年の誇りをもつてさらに…

中島 康雄【16回生】

昨二〇一一年二月五日、創立五〇周年記念のイベントが母校で開催された。

開催に至るまで、我々卒業生にとっても、寄付や招待客の問題と、いろいろと課題があったかと記憶する。我々、特に関東地区で生活する同窓生にしてみれば、皆で長崎に帰り、旧友たちと再会するチャンスでもあり、多くの仲間呼びかけた。しかしながら、さまざまな経緯から結局、長崎での再会是不発に終わった。

当日、幸いにも招待状をいただいた私は、総会に参列した。広い体育館に集まった人たちは、もちろん在校生、長崎県及び政財界のお歴々、歴代の先生方。我々卒業生は約百名



程度である。つまり各回生一名程度。

たしかに五〇周年記念は在校生のものであり、長崎で母校を支えてきた方々のものである。卒業生にとっても感慨深いイベントだと思い、久々に長崎で旧友との大同窓会と浮かっていた私にしてみると、多少後悔した。どうも卒業生で招待されたのは、記念誌へ投稿した人、多額の寄付をした人が選ばれたようだ。

総会は国歌斉唱、校長挨拶、在校生挨拶と粛々と進み、最後に一二回生である田上市長の記念講演が行われた。市長の演題は「長崎に生きる、世界に生きる」ということで、学生時代の話から現職でのご活躍を披露された。

午後からは記念祝賀会。場所をホテルニュー長崎に移し、約二〇〇名が参加し、楽しい宴となった。ただ、総勢二万人を超えるはずの卒業生の集まりが200名かと…

我々一六回生は、前々日の三日（祝日）から三連続の同窓会を企画し、毎回盛況とはいかなかったが、忙しい中、皆顔を出してくれ、さらに後輩たちも飛び入り参加してくれて、旧友たちとの再会が果たせた。

母校の五〇周年とは感慨深いものである。私も含め、卒業生に多少の気負いもあり、いろいろと問題もあつ

たが、この五〇年を生きてきた誇りと、次の五〇年に向けて、さらに躍進する南高であってほしいと願う気持ちは、皆同じだろう。

故郷は、遠くにありて… 心配事はありませんか

原 佳与子【14回生】

皆様、こんにちは。一四回生、長崎在住の原（旧姓黒川）佳与子と申します。

このたび、私が勤務する弁護士法人佳朋原総合法律事務所が、東京事務所（アンテナオフィス）を開設いたしました。恐縮ながらご案内さしあげたく投稿させていただきました。

といいますのは、このアンテナオフィスの発想が、実は、私が関東同窓会に参加させていただいたことをきっかけに生まれたものだからです。その誕生秘話も含め、以下、少しご紹介させていただきます。

二〇〇八年七月、私は、旧友からの誘いで、卒業後初めての高校同窓会として、関東同窓会に参加させていただきました。卒業後初めて再会する友人も多く、当日は時空を一気にワープし、再び青春の蒼さを体感したかのような懐かしい感激の余韻

で心地よい夜更かしをしたのを覚えて
います。

その後、連続して参加させていた
だき、同級生、諸先輩、後輩の皆さ
んとも暖かい交流ができたことに感
謝するばかりです。

ところで、この交流の中で、皆様
の故郷への熱い思いとともに、故郷
で暮らすご家族を心配する声を多く
聞きました。そこで、何か私にでき
ることはないかと考え、このプロジェ
クトを思いついたのです（実は、全
国でも初めての取り組みです。）。

このような経緯ですので、このプ

ロジェクトは、まさしく「長崎南高
同窓会」からいただいた構想です。

そこで、「アンテナオフィス東京事
務所（ネットワーク九州）」のご案内
です。

例えば、こんなお困りごとはあり
ませんか。

＊地元九州に残した高齢の両親―物
覚えも悪くなってきた心配

＊地元九州で亡くなった親の遺産―
他の相続人は地元で話し合いが進
まない

＊地元九州にある不動産―境界を
巡ってトラブルに

＊関東に進学した子ども―悪徳商法
や事故に巻き込まれないか心配

＊関東に支店を出した企業―支店で
のトラブルも含めて、地元九州で
相談にのってほしい

そんなニーズに応えるのが、「アン
テナオフィス」です。これまで、

関東の弁護士に相談しても、地元九
州での相談、依頼を勧められたかも
しれません。逆に、地元九州の弁護
士に相談しても、関東での相談、依
頼を勧められたかもしれません。ア

ンテナオフィス（原総合法律事務所
東京事務所）なら、関東と地元九州
を結んだ対応が可能です。

なお、将来的には、関東で活躍中
の弁護士、司法書士、医師など関連

士業の方々と連携できればと考え
ています。

さらに、原総合法律事務所は、九
州各県の法律事務所との協力関係
（ネットワーク九州）があり、九州全
県と関東を結ぶことができます。

詳しくは当事務所のHPをご覧ください。

↓ <http://www.haralawoffice.com/>

《ネットワーク九州お問い合わせ先》
0120-7248-94（懐かし
や九州）受付 平日午前9時〜午後
6時

人生になくてはならない

コーヒータイム

珈琲えぼつく店主

吉岡 修【3回生】

突然で恐縮ですが、私は埼玉県朝
霞市本町で、スペシャルティコーヒ

ーの焙煎販売と喫茶をやっております。

★弊店はスペシャルティコーヒ―

専門店です。

各国の農園、地域、農協等の豆を
焙煎し販売しています。喫茶もあり
ます。

世界でも高品質の豆を扱い、個性
的でフレッシュなコーヒ―を提供す
ることをモットーに努力しています。

価格もこの品質としてはかなり抑え
て販売しています。

★弊社での販売の主な世界の地域
（この中の農園、地域、農協等の豆を
扱っています）

東アフリカ、アジア、ハワイ、中
央アメリカ、南アメリカ、カリブ海
諸国

その他、イエメン、メキシコ、等
スポットで販売します。

★主なコーヒ―品種

ティピカ、ブルボン、カツーラ、
カツアイ、パッカマラ、ゲイシャそ
の他在来品種

価格帯は主に200gで1000
円〜1200円です。大口の場合は
価格についてはご相談と致します。

詳しくはHPをご参照ください。
一度お越しあるいはご注文頂けれ
ば、弊店のコーヒ―、わかっていた
だけだと思います。

よろしくお願い致します。

朝霞市本町2-12-24
細野ビル1F
TEL: 048-468-1786
URL: <http://coffee-epoch.pekori.to/>



長崎南高校出身の女優、立石涼子さん
（7回生）の芝居「ガラスの動物園」を観
劇。終演後、立石さん（右から二人目）と
ともに（2012年3月15日）



人生、いろいろ 人生、これから

2回生

◎帰省の理由

丸毛 肇（2回生）

二回生は、今年六五〜六六歳。だ
いぶ前から、周りの同級生が忙しく
長崎に帰るようになった。理由は、
親や兄弟・親類の看病または亡くな
られたりするからだ。

他人事ながら、大変だと思いは
したがあまり実感はなかった。これ
が自分の番になった。

三月中旬、がんで六か月ほど入院
していた八六歳の長姉が亡くなった
と連絡があった。これが五月の連休
に重なれば、飛行機代もホテル代も
通常価格の二倍にもなり、予約も難
しくなるから、時期的には正直、ほっ
とした。

お通夜にはどうにか間に合った。
寝台特急が貴重な乗り物だった昔
は、もっと大変だったろうなと思っ
た。もっとも江戸時代に遡ると、急
いでも物理的に無理なので慌てるこ
とはなかったらう。長崎奉行の辞令
を受けた江戸のお役人の場合は、挨
拶回りや旅支度をゆくりと整えて1
年がかりで赴任したようだ。

到着すると、妻より二歳年上の夫
は悲しみ嘆いており、また子どもが
いなかったの、いろいろこちらで
仕切らなければならなかった。年齢

的には、寿命を全うしたといえる年
だから、それほど悲しまなくともと
いう気持ちにもなるが、長年連れ
添った夫にとってはそうはいかない
ようだ。勝手なことだが、伴侶より
はちよつと早くお先に失礼するのが
手厚く葬られて良いと思った。

この世は金次第というが、このよ
うな人生に一度の「節目」には、経
済合理性も影をひそめる。その代表
が院号代。

辞書では、上皇の尊号とか天皇の
追号、また戒名に「院」の字の付く
ものというような説明がある。そし
て、戒名とは受戒（仏門に入るもの
が仏の定めた戒律を受けること）の
際に、出家者あるいは在家信者に本
来生前に与えられるものとある。

そういうものであるなら、我われ
不信心な庶民にとつては、残された
者の生活を優先し、実質的には意味
ない院号はやめようと話が決まった。
ところが、いよいよ納骨の段にな
ると、夫が墓石に刻まれた祖先の院
号付きの戒名を見て、院号なしでこ
こに並べるのでは格好が悪いと言
い出し、結局バランスの問題だけで原

価を伴わない高額の出費となった。
院号がつけばあの世での待遇がワン
ラックアップなら出し甲斐もあるが、
そういうわけでもない。見栄と世間

体からの解脱は、なかなか難しい。

こういう要件で何回も帰省するの
は気疲れするが、一つだけ楽しいこ
ともある。夜だけは、親しい同級生
数人と会って長崎の街で歓談するこ
と。東京ではとても高級で手のでな
い新鮮なさかなが存分に味わえる。

しばらくは、お寺さんリードの仏
事スケジュールに合わせて、帰るこ
とになる。

（平成二四年五月三日記）

* * *

◎65歳の大学院受験顛末記

久保 浩（2回生）

昨年、六五歳になったのを機に、
大学院を受験しました。

受験結果

- ①放送大学大学院文化科学研究科
（全科生）↓合格
- ②早稲田大学大学院政治学研究科
（科目等履修生）↓合格
- ③東京大学大学院総合文化研究科
国際社会科学専攻（国際関係論
分野）

第一次（筆記）試験↓合格

第二次（面接）試験↓不合格

第一次（筆記）試験合格者二三人
のうち、期限内に課題論文と研究計
画書を提出した第二次試験の受験生

ちょっと拝見!

「ありがとう わたしの市場」(NHK)

3月19日、NHK《にっぽん紀行》で、3月末で閉鎖された長崎の大黒・恵美須市場のことが放映されました。昭和31年、焼け跡からはじまった商いが「市場」になり56年。裸電球の温もり、2ケタの電話番号、共同便所…。番組は、果物屋の川原羊子さん(57)を中心に、50年以上、毎朝2時に起きて天ぷらを揚げつづけた夫婦、市場の生き字引の魚屋のおやじさんと、市場の日常を映します。そして、取り壊しを聞いて、市場の人々を撮り始めたさわやかな高校生、岡部優君との交流。岡部君は今春、母校・長崎南を卒業したそうです。(中村尚子 9回生)

一人に対し、合格者は九人でした。面接試験は、七人の教授陣の前で、提出課題論文と研究計画書に関する論文要旨(三分間)のプレゼンテーションからはじまり、以下質疑応答でした。

「若い学部生等との授業にも出席してもらうこともあるが、その覚悟はあるか?」

「卒業後の計画は?」は想定された質問でしたが、私にとっては厳しいものでした。しかし朝九時から午後五時までの筆記試験をクリアできたのは、体力的にも自信になりましたし、なにより二〇歳代前半の若者

(含む外国人)に囲まれた東大駒場の講堂での受験は、それなりに勇気のいることでもありました(あのおっさんは何者だろう?)。なぜ決意したか?

七〇歳までわずか五年、残された

時間は少ない。受験に耐え得る気力と体力のあるうちに挑戦する——「今しかない!」

一八歳の時の夢

①南高一年の二学期に、世間知らずの田舎秀才だった私は、思うように成績があがらずノイローゼになり、中間・期末テストを白紙で出してしまう、退学寸前となった苦い経験。あのまま退学させられていたら、社会の落伍者になっていたかもしれない。

②大学院まで行って世界史を研究する

立ち直りのきっかけを与えてくれた当時の先生のことば「汝はいずれからきたり、何者であり、いずこへいくのか」

受験を終えて

一八歳の時の夢を実現しようと思ひ、受験勉強に取り組んだ六カ月間、六五歳の大学院新入生が誕生した。気ちは一八歳でも身体はまぎれもなく六五歳なので、自分のペースを守って、研究計画を全うしたい。

六郷土手で長崎を満喫

上川 訓史(14回生)

去る四月二九日、東京は多摩川の六郷土手にて「長崎ハタ揚げ大会」が開催されました。

ここ数年参加させてもらっていたのですが、毎年呑んでばかりでは申し訳ないと、今回は実行委員としてお手伝いをしてきました。

とは言っても名ばかりで、毎年世話をされている三回生の小柳哲敬先輩と同じ一四回生の山本(川崎)郁子さんに「おんぶにだっこ」状態:いやいや長崎弁でいう「ガメンチョロ」状態で何の役にも立てませんでした。へ打合せ後の八丁堀のちゃんぽん屋さんでは、毎回一人前(以上?)に呑んでましたけど。

お二方のご活躍にはあらためて敬意を表し、お礼申し上げます。

当日は好天に恵まれ、風もここ数年では一番で、まさに「ハタ揚げ日和」となりました。おくんちの「龍踊り」、腹話術の出し物やちゃんぽん、皿うどん、大村寿司の売店もあったりですが、何ととっても長崎人と長崎弁で思いっきり笑い、話せる楽しさ……我

が一四回生は総勢一七名の参加があり、すっかり長崎気分を満喫できた一日でした。

来年は、実行委員を引き継ぎ、さらに楽しみたいと思っております。

今年来られなかった方も、来年は是非参加してください。



事務局だより

昨年二月に開校五〇周年記念の式典、それぞれの事業が行われて、ひとつの通過点を越えることができたようです。少子化がますます進むなかで、母校・長崎南の発展を期待したいと思います。

関東同窓会には約一八〇〇名の会員が登録されています。今年は八回生が還暦を迎える年齢になりました。おめでとございます！

当初は一学年が一三クラスで六五〇名近い同級生がいましたが、現在は七クラスで約二八〇名の規模となっています。それに比例して関東へ進学、就職等で上京される人も極端に少なくなっています。理由は、いろいろあると思われますが経済的な要因も大きいのではないのでしょうか。

関東同窓会も新規参入の会員が減ってくると、現在、平均年齢が約五四歳ですが、一〇年後は、



そのまま六四歳になりそうな気がしています。世相をそのまま反映しているのかも知れませんがね。

▼総会

昨年の第二一回総会は、8の付く回生が幹事会生でしたが、なかなか人数が揃わなかったので皆さんの協力によって住友会館で開催することができました。

今年第二二回総会の準備は、9の付く回生ですが、一九回生の皆さんが主体となって進めてもらっています。今年も住友会館を利用することができ、しかも五年ぶりに東高校さんの東龍会の協力により、龍踊りを見ることができるようになりました。どうぞ楽しみにしておいでください。

▼決算

決算書は昨年の総会でご承認を頂いた平成二二年のものです。総会参加時に納めて頂いた年会費と振込による年会費と一昨年の総会剰余金で成り立っています。

一昨年の総会は、一七回生が主体となって渋谷シダックスでの総会でした。一七回生の皆さん、ありがとうございました。

平成23年7月2日

平成22年度決算

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越	840,740	会報印刷代	154,513
会費	658,650	会報送送料	145,040
広告収入	0	運送費	8,410
預金利息	234	編集情報費	0
雑収入	0	イベント開催費	48,170
		他校参加費	67,000
第20回総会	100,000	総会補助費	150,000
		会議費	19,355
		事務費	0
		通信費	28,688
		旅費交通費	45,000
		ホームページ維持費	36,000
		振込手数料等	840
		予備費	420
		翌年度繰越	896,188
	1,599,624		1,599,624

▼あとがき

今回も会報フロムサウス第二七号を発行することができました。約一八〇〇名の関東同窓会会員と約三〇〇名の南高校三年生の皆さんへ、約一〇〇部を各地区の同窓会の皆さんへお届けしています。

メール、ブログ、ツイッターと伝達方法がありますが、やはりアナログの会報が津々浦々まで確実にお届けできると確信しています。ぜひ同窓会の雰囲気味わってください。

大学の入学式が終わって二ヶ月が

経とうとしています。入学式に親族が出席するのが当たり前になっていたようです。

T大では会場に入り切れなくなつて学部ごとの入学式へ変更したり、私立のK大では入学者に二枚までの親族券を発行したりしていたそうです。過保護なのか、少子化の影響なのか。今年からS銀行では二二〇名の新入社員の入行式に一五〇名の親族も参加されたそうです。これから先、この傾向は増えていくのかも知れません。

次世代の日本を背負っていく青年が、これで良いのかなと不安になつてしまします。でも、イレギュラーも長く続くとレギュラーになつてしまふそうです。早く、皆さんがレギュラーと思える世の中になつて欲しいですね。

(前田幸司)

フロムサウス 通巻二七号

二〇二二年六月一日発行

編集／発行人 長崎南高校関東同窓会

小岩寿樹

発行所 長崎南高校同窓会

〒183-0056

東京都府中市寿町2-3-11-701

前田幸司方

URL [http://members3.com/homepage/jp/](http://members3.com/homepage/jp/fromsouth/index.html)

fromsouth/index.html